令和８年度　学校自己評価システムシート　（ さいたま市立八王子中学校 ）　　学校番号　２４８

学校教育目標	大志を抱け　ひとみ　輝く　八中生　～賢く　豊かに　逞しく～
目指す学校像	1　生徒・教職員ともに安全・健康・人権を尊び、自己存在感や充実感が味わえる学校 2　美化・清掃活動を通して、美しさの中で豊かな学びのできる学校 3　共に過ごす生徒と教職員が、共に自信と誇り、安心の元に活動できる学校 4　豊かな連携を通して、保護者・地域から信頼され、愛される学校

重点目標	1　自立した学習者の育成に向け、ICTや個別活動を効果的に活用した生徒個々の学びを高める授業を実践する。 2　生命と人権尊重を重視し、自主的・主体的・協働的な活動を通して、生徒が自信をもち、自己肯定感を高める。 3　生徒自ら地域と連携し、地域社会に貢献する意識を高める。 4　生徒の安心・安全を確保した施設・設備を充実する。 5　教職員の働きやすさ・働きがいに対する意識を向上させ、健康を維持する。

※重点目標は６つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

【様式】

達成度	A	ほぼ達成　（８割以上）
	B	概ね達成　（６割以上）
	C	変化の兆し　（４割以上）
	D	不十分　（４割未満）

学校自己評価							学校運営協議会による評価
年度目標				年度評価			実施日令和　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1 学びの質の向上に関する取組	【現状】 ○全国学力・学習状況調査では、国語・数学ともに前年度と比較して上昇し、国語では市平均を上回った。 ○生徒評価では、生徒が授業に真剣に取り組んでいることが伺えたが、樹種的な予習・復習については、A評価が 28.7%である。 【課題】 ○生徒の学習への意識は高まっているが、行動が伴っておらず、学習方法の指導が必要である。 ○下位層の基礎学力定着とともに、上位層の学習意欲を引き出す指導方法の工夫が必要である。	・基礎・基本の定着と生徒個々に合った授業方法の工夫改善	①基礎・基本の定着のため、授業内や宿題等においてスタディサプリ等、ICT 教材を広く活用する。 ②個々のレベルに合わせた取組を実施するため、ドリル学習等において、レベル別に設定した課題を設定する。	①授業等においてスタディサプリ等を活用したか。 ②生徒評価「予習復習に自主的に取り組む」が昨年度よりも上回ったか。 ③教職員評価「生徒の実態に合わせた指導」が昨年度よりも上回ったか。				
		・探究的・協働的な学びを実践するための指導方法の工夫改善	①授業内において、自分の意見を表現できる場面や上位層の生徒が他の生徒に教え合う機会を設定する。 ②授業内外において、生徒が自ら考え、「できた」「わかった」を実感できるよう対話を重視した活動を実践する。	①授業において話し合い活動の時間を設定したか。 ②生徒評価「授業がわかりやすい」が昨年度よりも上回ったか。 ③教職員評価「指導力が高まっている」が昨年度よりも上回ったか。				
2 子どもの発達や心のサポートに関する取組	【現状】 ○自分に自信が持てず、対人関係に不安を感じる生徒が多い。 ○生徒評価「先生は親身に相談に応じる」の肯定的評価は 93.7%である。 【課題】 ○自主的に行動する生徒と不安を抱える生徒の意識が二極化されており、底上げが必要である。 ○生徒指導・教育相談において、さらに組織的な対応が必要である。	・生徒の自信を身につけるための教育活動の工夫改善	①基本的生活習慣を身につけるため、心を潤す４つの言葉について、生徒とともに行う環境を設定する。 ②生徒会活動や地域ボランティア活動等の自主的な活動をさらに設定する。	①生徒評価「心を潤す４つの言葉を相手に伝わるようできている」が昨年度よりも上回ったか。 ②生徒が発表活動等、主体的に活動する場面を多く設定したか。				
		・生徒１人ひとりきめ細やかに対応する組織の充実	①生徒に目を向け、細かいことでも報告・連絡・相談・見届けができる組織体制を再構築する。 ②生徒朝会や委員会活動を活用し、トラブル未然防止の取組を生徒とともに実施する。	①生徒評価「先生は親身になって相談に応じる」が昨年度よりも上回ったか。 ②保護者評価「教職員に対する生徒の信頼が伝わってくるか」が昨年度よりも上回ったか。 ③指導に対して組織的に対応できたか。				
3 地域とともにある学校づくりに関する取組	【現状】 ○コミュニティ・スクールの研究により、地域連携についての道筋を立てることができている。 ○生徒評価「地域等のボランティア活動に参加している」の肯定的評価について、昨年度から在籍している生徒については増加している。 【課題】 ○積極的に地域に関わり、自ら意見を発信できる生徒の育成を継続していく必要がある。 ○コミュニティ・スクールの研究で身についた力を今後も継続して育成していく必要がある。	・生徒の社会貢献に対する意識の育成及び地域連携の充実	①地域と生徒の連携を強化させるため、清掃ボランティアやあいさつ運動などお互いに交流できる場面を増加する。 ②地域ボランティア参加率の向上に向けて、募集案内の周知に工夫を加える。	①生徒評価「地域等のボランティア活動等に参加したか」が昨年度よりも上回ったか。 ②生徒が自主的に活動に取り組んでいる様子が見られたか。				
		・学校の取組についての情報発信と共有	①生徒が学校運営協議会で地域連携について意見を伝える機会を設定する。 ②学校での活動の様子をホームページに掲載したり、情報配信ツールを活用したりして情報提供を行う。	①保護者評価「学校に関する情報を伝えている」が昨年度よりも上回ったか。 ②ホームページの更新数及びアクセス数が昨年度以上となっているか。 ③生徒が学校運営協議会に参加する場を設定したか。				
4 教育環境の整備に関する取組	【現状】 ○生徒・教職員が校舎をていねいに使用しており、破損等は少ないが、老朽化は進んでいる。 ○花の植え替えなど、ＰＴＡが環境整備において協力的である。 【課題】 ○生徒が安心して学習・生活できる環境を確認するため、多方面視点から施設・設備を定期的に点検する必要がある。 ○書類の紛失等がないよう、職員室等の整備が必要である。	・生徒が安心して学習できる施設・設備の充実及び改善	①リース切れに伴い引きあげられた ICT機器について、生徒の学習環境がマイナスにならないよう再整備をする。 ②教員が利用しやすく、書類の管理がしやすいよう職員室の整備を実施する。	①ICT 機器を再整備し、活用されているか。 ②教職員評価「公用備品の管理はできたか」が昨年度よりも上回ったか。				
		・生徒が安全に生活できる施設・設備の充実	①安全点検以外にも定期的に巡回・点検し、大きな修繕については、迅速に学校施設管理課等に修繕依頼をする。 ②生徒の心の成長に沿う環境の構築について、地域・保護者から意見をいただき、改善する。	①安全点検及びそれ以外の点検において、修繕・改善個所に対して迅速に対応できたか。 ②校内緑化活動等、保護者・地域の方から改善点を得ることができたか。				
5 教職員のキャリア形成に関する取組	【現状】 ○生徒との関わりをていねいに行う教員が多い。 ○業務にていねいに取り組んでいる反面、時間外在校時間も多くなり、健康面が心配である。 ○生徒数の減少により、これまでできていた業務において、教職員の負担が増大している。 【課題】 ○業務の対応については、１人で抱え込まず、組織的な対応をする必要がある。 ○若手教員の育成を含め、協力体制が充実する雰囲気の良い職場づくりを進める必要がある。	・教職員の専門性・指導力向上のための研修の奨励	①教員が生徒と関わることができる時間を生み出すよう、業務軽減についての研修や話し合いの場を設定する。 ②教科の指導力向上のため、教員による相互授業参観を増やす。	①相互授業参観を規定数（授業２回・参観３回）以上実施できたか。 ②教職員評価「研修に関する内容を理解し、時間が確保されたか」が昨年度よりも上回ったか。				
		・教職員の健康保持増進に向けた業務改善の工夫	①部活動の活動時間や休養日などの在り方を見直し、学校規模に見合った規定を作成する。 ②ノー残業デーや年休取得のなど取得を促進させるため、定期的に確認する。	①来年度に向けた新たな部活動規定を策定できたか。 ②教職員が業務効率化を意識して取り組み、時間外在校時間を減少させ、健康を維持できたか。 ③協力体制を向上することができたか。				